(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第3986102号

(P3986102)

(45)発行日　平成19年10月3日(2007.10.3)　(24)登録日　平成19年7月20日(2007.7.20)

(51)Int.Cl.		F I		
B41J 29/40	(2006.01)	B41J	29/40	Z
G06F 3/12	(2006.01)	G06F	3/12	E
G06F 17/21	(2006.01)	G06F	3/12	L
G06Q 10/00	(2006.01)	G06F	17/21	548Z
		G06F	17/21	566P

請求項の数 2　(全 11 頁)　最終頁に続く

(21)出願番号　特願平8-110904
(22)出願日　平成8年5月1日(1996.5.1)
(65)公開番号　特開平9-297801
(43)公開日　平成9年11月18日(1997.11.18)
審査請求日　平成13年9月27日(2001.9.27)
審判番号　不服2004-5452(P2004-5452/J1)
審判請求日　平成16年3月18日(2004.3.18)

(73)特許権者　000001443
カシオ計算機株式会社
東京都渋谷区本町１丁目６番２号
(72)発明者　小西　正雄
東京都羽村市栄町３丁目２番１号　カシオ計算機株式会社　羽村技術センター内
(72)発明者　高橋　由次
東京都羽村市栄町３丁目２番１号　カシオ計算機株式会社　羽村技術センター内
(72)発明者　佐野　文則
東京都羽村市栄町３丁目２番１号　カシオ計算機株式会社　羽村技術センター内
(72)発明者　大沢　和江
東京都羽村市栄町３丁目２番１号　カシオ計算機株式会社　羽村技術センター内
最終頁に続く

(54)【発明の名称】帳票印刷装置

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

複数セルから構成される帳票データを記憶する帳票データ記憶手段と、

前記セルのデータ内容を評価するための複数の評価条件と、該評価条件に対応する複数の色情報とを対応付けて定義した複数の色定義辞書テーブルと、

前記帳票データの複数セルのうちデータ内容を評価する評価対象セルを示す評価対象セル情報と、前記色定義辞書テーブルを指定する辞書指定情報と、前記帳票データの種類を識別するための識別色を付加印刷する領域位置を示す付加領域情報とを対応付けて設定したカラー情報テーブルと、

指定された印刷対象帳票を印刷出力する際に、前記印刷対象帳票に対応する前記カラー情報テーブルに設定された前記辞書指定情報を取得し、取得した前記辞書指定情報に基づいて前記複数の色定義辞書テーブルから１つの色定義辞書テーブルを読み込む読込手段と、

前記印刷対象帳票に対応する前記カラー情報テーブルに設定された前記評価対象セル情報に基づいて前記帳票データ記憶手段から前記印刷対象帳票の評価対象セルを読み出し、読み出した評価対象セルのデータ内容と前記読込手段により読込まれた前記色定義辞書テーブルに定義された前記複数の評価条件とを比較し、前記評価対象セルのデータ内容に該当する評価条件に対応する色情報を前記色定義辞書テーブルから取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記色情報に基づいた識別色を前記評価対象セル情報に対応する前記付加領域情報が示す領域位置に付加印刷して前記帳票データを印刷出力させ

る印刷制御手段と、
を具備したことを特徴とする帳票印刷装置。
【請求項２】
前記カラー情報テーブルは、夫々異なる複数の評価対象セル情報に対応付けて、夫々異なる複数の位置情報を記憶し、
前記色定義辞書テーブルは、前記複数の評価対象セル情報に対応付けて、夫々異なる複数の評価条件及び複数の色情報を記憶し、
前記取得手段は、前記複数の評価対象セル情報に基づいて複数の評価対象セルのデータ内容と前記夫々異なる複数の評価条件とを比較し、前記複数の評価対象セルに夫々該当する複数の評価条件に対応する複数の色情報を前記色定義辞書テーブルから取得し、
前記印刷制御手段は、前記複数の位置情報が示す夫々異なる位置に前記複数の色情報に基づいた識別色を付加印刷して前記帳票データを印刷出力させる
ことを特徴とする請求項１記載の帳票印刷装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、帳票を印刷出力する際に、帳票のデータに対応する色を帳票に付加して印刷出力する帳票印刷装置に関する。
【０００２】
【従来の技術】
近年、例えば、事務処理を主とするオフィスコンピュータや汎用コンピュータ等においては、表計算やデータベース等の各種アプリケーションプログラムが利用されており、集計した表データを各種形式の帳票で出力可能とする帳票出力機能を備えている。
【０００３】
また、帳票出力機能において帳票を印刷する際に、帳票を識別表現する識別表現方法として、章毎やカテゴリ毎といったある決められた単位毎に帳票類の縁にマーク（網掛け等）を印字していた。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら、このような従来の帳票出力機能において帳票を印刷する際には、帳票を識別表現する識別表現方法として、章毎やカテゴリ毎といったある決められた単位毎に判断され、かつ帳票類の縁にマーク（網掛け等）を印字するようになっていたが、その表現方法をユーザーが任意に指定することができなかったり、色による複合情報の表現ができないといった問題があった。
【０００５】
このため、分類項目が複数になるような場合、ユーザーの欲する分類項目及び帳票内の印刷指定領域に応じたカラーマークの印刷設定を柔軟に設定することができず、そのカラーマーク印刷機能が充分でなく、利用性が低かった。
【０００６】
本発明の課題は、帳票種類やその項目セルの内容に応じた任意の色を設定して、帳票の任意の指定領域にカラータグ等の識別色を印刷できるようにすることである。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
請求項１記載の発明は、複数セルから構成される帳票データを記憶する帳票データ記憶手段と、前記セルのデータ内容を評価するための複数の評価条件と、該評価条件に対応する複数の色情報とを対応付けて定義した複数の色定義辞書テーブルと、前記帳票データの複数セルのうちデータ内容を評価する評価対象セルを示す評価対象セル情報と、前記色定義辞書テーブルを指定する辞書指定情報と、前記帳票データの種類を識別するための識別色を付加印刷する領域位置を示す付加領域情報とを対応付けて設定したカラー情報テーブルと、指定された印刷対象帳票を印刷出力する際に、前記印刷対象帳票に対応する前記カ

ラー情報テーブルに設定された前記辞書指定情報を取得し、取得した前記辞書指定情報に基づいて前記複数の色定義辞書テーブルから１つの色定義辞書テーブルを読み込む読込手段と、前記印刷対象帳票に対応する前記カラー情報テーブルに設定された前記評価対象セル情報に基づいて前記帳票データ記憶手段から前記印刷対象帳票の評価対象セルを読み出し、読み出した評価対象セルのデータ内容と前記読込手段により読込まれた前記色定義辞書テーブルに定義された前記複数の評価条件とを比較し、前記評価対象セルのデータ内容に該当する評価条件に対応する色情報を前記色定義辞書テーブルから取得する取得手段と、前記取得手段により取得された前記色情報に基づいた識別色を前記評価対象セル情報に対応する前記付加領域情報が示す領域位置に付加印刷して前記帳票データを印刷出力させる印刷制御手段と、を具備したことを特徴とする。

【００３５】

【発明の実施の形態】

以下、図を参照して本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【００３６】

図１～図８は、本発明の帳票印刷方法を適用したコンピュータシステムの一実施の形態を示す図である。

【００３７】

まず、構成を説明する。

【００３８】

図１は、本実施の形態のコンピュータシステム１の要部構成を示すブロック図である。

【００３９】

図１において、コンピュータシステム１は、ＣＰＵ２、入力部３、ＲＡＭ４、記憶媒体制御部５、記憶装置６、カラー印字部７及びカラー表示部８により構成されており、各部はバス９により接続されている。

【００４０】

ＣＰＵ（Central Processing Unit ）２は、記憶装置６に記憶されているＧＵＩとしてのウインドウシステムプログラム及び当該ウインドウシステムに対応する各種アプリケーションプログラムの中から指定されたアプリケーションプログラム、入力部３から入力される各種指示あるいはデータをＲＡＭ４内のワークメモリ４ａに格納し、この入力指示及び入力データに応じてＲＡＭ４内に格納したアプリケーションプログラムに従って各種処理を実行し、その処理結果をＲＡＭ４内のワークメモリ４ａに格納するとともに、カラー表示部８に表示する。そして、ワークメモリ４ａに格納した処理結果を入力部３から入力指示される記憶装置６内の保存先に保存する。

【００４１】

また、ＣＰＵ２は、ＲＡＭ４内の帳票データメモリ４ｂに記憶される帳票データの出力処理として後述する帳票印刷処理において、その印刷対象の帳票内の各セルデータに対応するカラー化情報を定義するカラー情報テーブルを取得し、このカラー情報テーブル内に設定されている辞書指定情報に基づいてＲＡＭ４内のカラー辞書メモリ４ｅからカラー辞書テーブルを読み込む。そして、ＣＰＵ２は、読み込んだカラー辞書テーブルにおいて評価条件に基づいて設定されている色情報と、カラー情報テーブル内に定義されている付加領域情報に従って、帳票内の指定位置に指定色のカラータグをカラー印字部８によりカラー印刷出力させる。

【００４２】

入力部３は、カーソルキー、数字入力キー及び各種機能キー等を備えたキーボードと、ポインティングデバイスであるマウスと、を備え、キーボードで押下されたキーの押下信号をＣＰＵ２に出力するとともに、マウスによる操作信号をＣＰＵ２に出力する。

【００４３】

ＲＡＭ（Random Accesss Memory ）４は、指定されたアプリケーションプログラム、入力指示、入力データ及び処理結果等を格納するワークメモリ４ａと、帳票の内容を定義するための定義テーブルを格納する帳票定義メモリ４ｂと、帳票データを格納する帳票データ

メモリ４ｃと、帳票内の評価対象セル情報を定義する定義情報とカラータグ印刷位置を示す付加領域情報と辞書指定情報とが設定されたカラー情報テーブルを格納するカラー情報メモリ４ｄと、カラー情報テーブルに設定された辞書指定情報に対応する各種カラー辞書テーブルを格納する色定義辞書メモリ４ｅと、を有する。

【００４４】

記憶媒体制御部５は、図中に示す記憶媒体１０（例えば、フロッピーディスク）を駆動制御する記憶媒体駆動装置としての機能を有し、ＣＰＵ２からの指示により記憶媒体１０を駆動して、書き込み指示が入力された場合は指定されたデータを記憶媒体１０の指定された記憶領域に書き込み、読み出し指示が入力された場合は指定されたデータを記憶媒体１０から読み出し、記憶装置６内の記憶媒体１０の指定された記憶領域に書き込む。

【００４５】

記憶装置６は、プログラムやデータ等か予め記憶されている記憶媒体を有しており、この記憶媒体は磁気的、光学的記録媒体、若しくは半導体メモリで構成されている。この記憶媒体は記憶装置６に固定的に設けたもの、若しくは着脱自在に装着するものであり、この記憶媒体には上記ＧＵＩとしてのウインドウシステムプログラム及び当該ウインドウシステムに対応する各種アプリケーションプログラム、帳票印刷処理プログラム及び各処理プログラムで処理されたデータ等を記憶する。

【００４６】

また、この記憶媒体に記憶するプログラム、データ等は、通信回線等を介して接続された他の機器から受信して記憶する構成にしてもよく、更に、通信回線等を介して接続された他の機器側に上記記憶媒体を備えた記憶装置を設け、この記憶媒体に記憶されているプログラム、データを通信回線を介して使用する構成にしてもよい。

【００４７】

カラー印字部７は、ＣＰＵ２から入力される印字データ（帳票データ等）を指定された色で印刷出力する。

【００４８】

カラー表示部８は、ＣＲＴ（Cathode Ray Tube）等により構成され、ＣＰＵ２から入力される表示データを指定色で表示する。

【００４９】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

【００５０】

まず、上記ＲＡＭ４内の帳票データメモリ４ｃに格納される帳票データの例を図２に示す。この帳票データでは、項目欄として帳票種類欄、取引先名欄、締め日欄、発行年度欄及び発行日欄が設定され、各項目欄下のセルにはデータが設定されている。

【００５１】

次いで、上記ＲＡＭ４内のカラー情報メモリ４ｄに格納されるカラー情報テーブルの一例を図３（Ａ）～（Ｃ）に示して説明する。

【００５２】

本実施の形態のカラー情報テーブルにおいては、図３（Ａ）～（Ｃ）に示すように、１番上の行のカラー辞書指定欄には辞書指定情報（色定義辞書指定情報）を設定し、セル欄には評価対象のセル番号（評価対象セル情報）を設定し、評価名称欄には評価対象の項目名（評価対象項目名称）を設定し、付加領域欄にはカラータグを印刷する帳票内の位置情報を設定する。

【００５３】

図３（Ａ）に示すカラー情報テーブルでは、辞書指定欄には“締め日テーブル”、セル欄には評価対象セル番号として“Ｃ２，Ｃ３”、評価名称欄には“締め日”、付加領域欄には“帳票右側縁部”が設定された場合を示している。

【００５４】

図３（Ｂ）に示すカラー情報テーブルでは、辞書指定欄には“発行日テーブル”、セル欄には評価対象セル番号として“Ｄ２～Ｅ３”、評価名称欄には“発行年度”、付加領域欄

には“帳票右肩縁部１，帳票右肩縁部２”が設定された場合を示している。
【００５５】
図３（Ｃ）に示すカラー情報テーブルでは、辞書指定欄には“取引先テーブル”、セル欄には評価対象セル番号として“Ｂ２，Ｂ３”、評価名称欄には“取引先名”、付加領域欄には“帳票周辺部”が設定された場合を示している。
【００５６】
これらのカラー情報テーブル内の定義項目は任意に設定可能であり、図３に示したものだけに限るものではない。
【００５７】
次いで、この色定義辞書メモリ４ｅに格納されている色定義辞書テーブルの一例を図４（Ａ）～（Ｃ）に示して説明する。
【００５８】
本実施の形態の色定義辞書テーブルにおいては、図４（Ａ）～（Ｃ）に示すように、１番上の行の辞書名称欄には当該辞書名称を設定し、評価名称欄には評価名称（評価対象項目名称）を設定し、条件欄にはその評価名称に該当するか否かを判別する評価条件を設定し、色欄には条件欄に設定された評価条件毎の色情報を設定する。
【００５９】
図４（Ａ）に示す色定義辞書テーブルでは、辞書名称欄には“締め日テーブル”、評価名称欄には“締め日”、条件欄には“２０日，月末”、色欄には“青，赤”が設定された場合を示している。
【００６０】
図４（Ｂ）に示す色定義辞書テーブルでは、辞書名称欄には“取引先テーブル”、評価名称欄には“取引先名”、条件欄には“ＡＢＣ（株），ＸＹＺ（株）”、色欄には“青，赤”が設定された場合を示している。
【００６１】
図４（Ｃ）に示す発行日テーブルでは、辞書名称欄には“発行年度，発行月度”、条件欄には“平成６年～平成９年，１月～１２月”、色欄には“緑，赤，青，黄，赤（階調１），赤（階調２），青（階調５），青（階調６）”が設定された場合を示している。この場合、１月から６月は赤（階調１～６）、７月から１２月は青（階調１～６）が設定される。
【００６２】
なお、これらの色定義辞書テーブルに限らず、その他の辞書名称、評価名称、評価条件及び色情報を設定した色定義辞書テーブルを設けても良いことは勿論である。
【００６３】
以上の図３に示したカラー情報テーブル及び図４に示した色定義辞書テーブルの各カラー情報定義内容によりＣＰＵ２により実行される帳票印刷処理について図５に示すフローチャートに基づいて説明する。
【００６４】
まず、帳票印刷処理が入力部３からの入力により指示され、印刷対象の帳票が指定されると、ＣＰＵ２は帳票印刷処理を開始し、その帳票データの帳票フォームをＲＡＭ４内の帳票データメモリ４ｃから読み出してワークメモリ４ａ内に展開して、カラー表示部８に表示する（ステップＳ１）。次いで、その展開した帳票フォーム内に帳票データを展開して、カラー表示部８に表示する（ステップＳ２）。そして、付加印刷指定の有無をチェックし（ステップＳ３）、付加印刷指定が無い場合は、ワークメモリ４ａ内に展開した帳票データの印刷処理を行って、カラー印字部７から所定用紙に印刷出力させる（ステップＳ８）。また、付加印刷指定が有る場合は、その指定帳票のカラー情報テーブルをＲＡＭ４内のカラー情報メモリ４ｄに設定されているカラー情報テーブルの辞書指定欄に指定された色定義辞書名情報を取得する（ステップＳ４）。
【００６５】
すなわち、上記図３（Ａ）～（Ｃ）に示したカラー情報テーブルの辞書指定欄に設定され

た“締め日テーブル”、“発行日テーブル”、“取引先テーブル”等の色定義辞書テーブル名が取得される。

【００６６】

次いで、その指定された色定義辞書名の色定義辞書テーブルをＲＡＭ４内の色定義辞書メモリ４ｅから読み込み（ステップＳ５）、その色定義辞書テーブルに設定されている評価対象セル情報を評価名称欄から読み出す（ステップＳ６）。すなわち、上記図４（Ａ）～（Ｃ）に示した色定義辞書テーブルの評価名称欄から“締め日”、“取引先名”、“発行年度”、“発行月度”等が読み出される。

【００６７】

そして、その読み出した評価対象セルのデータに応じた色情報を、その色定義辞書テーブルに設定されている評価条件に基づいて色欄から取得し、その取得した色情報により、カラー情報テーブル内の付加領域欄に設定されている付加領域に応じて、ステップＳ１で展開した帳票内の指定領域にカラータグを描画する（ステップＳ７）。

【００６８】

すなわち、上記図４（Ａ）～（Ｃ）に示した色定義辞書テーブルの色欄に設定されている複数の色情報のうち、その評価条件に対応する色情報が取得され、上記図３（Ａ）～（Ｃ）に示したカラー情報テーブルの付加領域欄に設定されている“帳票右側縁部”、“帳票右肩縁部１”等により示された帳票内の指定領域に取得した色情報に応じたカラータグが描画される。

【００６９】

次いで、上記ステップＳ１及びステップＳ２でワークメモリ４ａ内に展開した帳票フォーム及び帳票データ、及びステップＳ７で描画したカラータグの内容をカラー印字部８から所定用紙に印刷出力させ（ステップＳ８）、本処理を終了する。

【００７０】

以上の帳票印刷処理によりカラータグが印刷された帳票の具体例を図６に示す。この図６（Ａ）、（Ｂ）に示す請求書帳票では、評価対象セルデータを評価条件により評価して取得した色情報により、上記図３（Ａ）～（Ｃ）に示したカラー情報テーブルの付加領域欄に設定されている付加領域のうち、その請求書内の“帳票右側縁部”に、カラータグが印刷された場合を示している。

【００７１】

また、図７（Ａ）～（Ｃ）に他のカラータグが印刷された帳票の具体例を示す。この図７（Ａ）～（Ｃ）に示す帳票に印刷されたカラータグの具体例は、上記図３（Ａ）～（Ｃ）に示したカラー情報テーブルの付加領域欄に設定されている付加領域のうち“帳票右肩縁部”に印刷されたものである。このカラータグ印刷では、２種類印刷されており、その図中の左側が“年度”を示し、右側が“月度”を示している。このように複数のカラータグを印刷することにより、識別内容をより詳細に明示することができる。

【００７２】

この図７（Ａ）～（Ｃ）に示す帳票データでは、“発行年度”及び“発行月度”が評価対象となっており、図７（Ａ）では発行年度が平成６年であるため、図４（Ｃ）の“発行日テーブル”の色欄から“緑”が対応する色情報として取得され、図３（Ｂ）のカラー情報テーブルの付加領域欄から“帳票右肩縁部１”が取得されて、同図に示すように帳票内の右肩縁部の左側に緑色のカラータグが印刷される。そして、発行月度が５月であるため、図４（Ｃ）の“発行日テーブル”の色欄から図示しない色情報（赤、階調５）が取得され、図３（Ｂ）のカラー情報テーブルの付加領域欄から“帳票右肩縁部２”が取得されて、同図に示すように帳票内の右肩縁部の右側に取得した色のカラータグが印刷される。同様にして、図７（Ｂ）及び（Ｃ）のカラータグも印刷される。

【００７３】

また、カラータグの他の印刷例を図８（Ａ）、（Ｂ）に示す。この図８（Ａ）に示すカラータグは、帳票の周縁部に印刷された場合を示しており、このように帳票周辺部分にカラー印刷を行うことにより、同図（Ｂ）に示すように、その帳票をファイルに綴じた場合に

、図中の矢印で示す部分から印刷された色部分を見ることができる。このため、帳票をファイルに綴じたような場合にも、その発行年度月度等を色部分を見て識別することができる。

【００７４】

以上のように、本実施の形態のコンピュータシステム１では、帳票印刷に関する定義ファイルとして、ＲＡＭ４内に帳票内の評価対象セル情報を定義する定義情報とカラータグ印刷位置を示す付加領域情報と辞書指定情報とが設定されたカラー情報テーブルを格納するカラー情報メモリ４ｄと、カラー情報テーブルに設定された辞書指定情報に対応する各種色定義辞書テーブルを格納する色定義辞書メモリ４ｅと、を設け、カラー情報テーブルでは、評価対象セル情報と、その項目名称と、付加領域情報と、辞書指定情報とを任意に設定可能とし、色定義辞書テーブルでは、評価対象項目名称毎に評価条件と、その評価条件に基づく色情報（色及び階調数）を予め設定したため、帳票毎にカラー情報テーブルと色定義辞書テーブルを設定する必要がなく、カラー情報を定義する手間を軽減することができる。

【００７５】

また、帳票印刷処理においては、このカラー情報テーブル及び色定義辞書テーブルに従って、印刷対象帳票内の評価対象項目が設定されたセル、あるいは、カラータグを印刷する帳票内の付加領域が、カラー表示されてカラー印刷出力されるとともに、色定義辞書テーブルの変更を可能として、その印刷対象帳票内の評価象項目及びカラータグ印刷領域の色及び位置を変更可能としたため、帳票を印刷する際のセル単位及びセル領域毎の評価条件に基づくカラータグの色識別印刷を容易に行うことができる。

【００７６】

その結果、帳票データを利用するデータ識別分類方法において、その識別分類結果を色別に印刷させるとことを容易にでき、帳票管理を簡便にすることができ、また、帳票データの作成機能を備えるアプリケーションプログラムに適用することにより、印刷機能の向上を図ることができる。

【００７７】

なお、上記実施の形態の帳票印刷処理では、カラータグの色及び印刷位置を、その評価対象セルデータの該当する評価条件に応じて変更するようにした場合を説明したが、帳票全体の背景色として印刷するようにしてもよい。

【００７８】

また、上記実施の形態のカラー情報テーブルでは、各設定項目を任意に設定可能としたが、上記色定義辞書テーブルの各設定項目を任意に設定可能としてもよく、この場合、評価対象セルの評価条件を任意に設定でき、カラータグが印刷出力される帳票の印刷形態の多様化を容易にすることができ、より詳細に帳票の識別分類を行うことができる。

【００７９】

【発明の効果】

請求項１記載の発明の帳票印刷装置によれば、複数セルから構成される帳票データを印刷出力する際に、カラー情報テーブルに定義された評価対象セルのデータ内容を色定義辞書テーブルに定義された評価条件に応じた色がカラー情報テーブルに定義された領域位置に付加印刷されるので、ユーザは印刷出力された帳票データに付加印刷される色によってデータ内容を簡単に把握することができるため、例えば各帳票データの取引先名や発行年度を色によって判別できると共に、帳票毎にカラー情報テーブルと色定義辞書テーブルを設定する必要がなく、カラー情報を定義する手間を軽減することができる。

【００８０】

その結果、帳票データを利用するデータ識別分類方法において、その識別分類結果を色別に印刷させるとことを容易にでき、帳票管理を簡便にすることができ、また、帳票データの作成機能を備えるアプリケーションプログラムに適用することにより、印刷機能の向上を図ることができる。

【００８１】

請求項２記載の発明の帳票印刷装置によれば、夫々異なる複数の位置に付加印刷された識別色を参照するだけで、夫々異なる評価対象セルの評価結果を簡単に把握でき、即座に帳票データの種別を判別ができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の帳票印刷方法を適用した一実施の形態のコンピュータシステムの要部構成を示すブロック図。

【図２】図１のＲＡＭ内の帳票データメモリに格納される帳票データの一例を示す図。

【図３】図１のＲＡＭ内のカラー情報メモリに格納されるカラー情報テーブルの例を示す図。

【図４】図１のＲＡＭ内の色定義辞書メモリに格納される色定義辞書テーブルの例を示す図。

【図５】図１のＣＰＵにより実行される帳票印刷処理のフローチャート。

【図６】図５の帳票印刷処理によりカラータグが帳票右側縁部に印刷された帳票の一例を示す図。

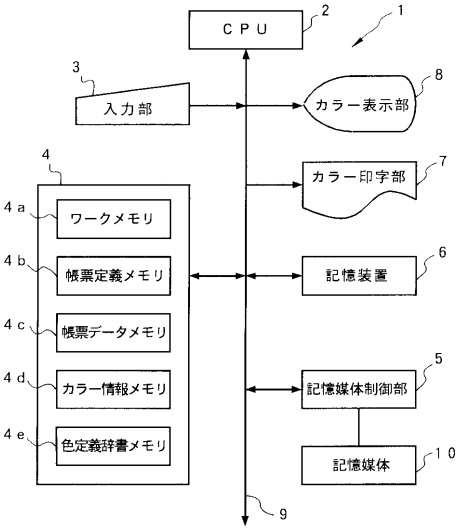
【図７】図５の帳票印刷処理によりカラータグが帳票右肩縁部に印刷された帳票の一例を示す図。

【図８】図５の帳票印刷処理によりカラータグが帳票周部に印刷された帳票の一例を示す図。

【符号の説明】

１　コンピュータシステム
２　ＣＰＵ
３　入力部
４　ＲＡＭ
４ａ　ワークメモリ
４ｂ　帳票定義メモリ
４ｃ　帳票データメモリ
４ｄ　カラー情報メモリ
４ｅ　色定義辞書メモリ
５　記憶媒体制御部
６　記憶装置
７　カラー印字部
８　カラー表示部
９　バス
１０　記憶媒体

【図１】



【図２】

	A	B	C	D	E
	帳票種類	取引先名	締め日	発行年度	発行日
1	請求書	ＡＢＣ（株）	２０日	平成６年	06.05.29
2	請求書	ＸＹＺ（株）	月末	平成７年	07.10.31
3	・・・・・・	・・・・・・	・・・・・・	・・・・・・	・・・・・・

【図３】

（Ａ）

辞書指定	締め日テーブル	
セル	評価名称	付加領域
Ｃ２	締め日	帳票右側縁部
Ｃ３	締め日	帳票右側縁部

（Ｂ）

辞書指定	発行日テーブル	
セル	評価名称	付加領域
Ｄ２	発行年度	帳票右肩縁部１
Ｄ３	発行年度	帳票右肩縁部１
≀	≀	≀
Ｅ２	発行月度	帳票右肩縁部２
Ｅ３	発行月度	帳票右肩縁部２

（Ｃ）

辞書指定	取引先テーブル	
セル	評価名称	付加領域
Ｂ２	取引先名	帳票周縁部
Ｂ３	取引先名	帳票周縁部

【図４】

（A）

辞書名称	締め日テーブル	
評価名称	条件	色
締め日	２０日	青
	月末	赤

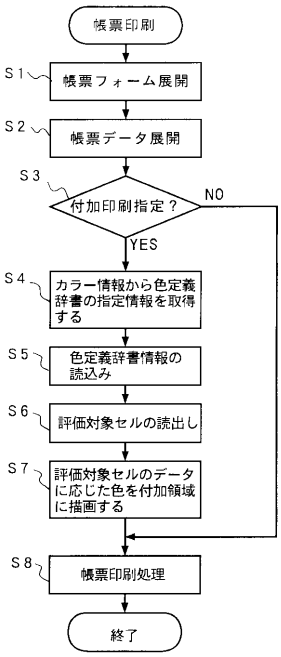
（B）

辞書名称	取引先テーブル	
評価名称	条件	色
取引先名	ＡＢＣ（株）	青
	ＸＹＺ（株）	赤

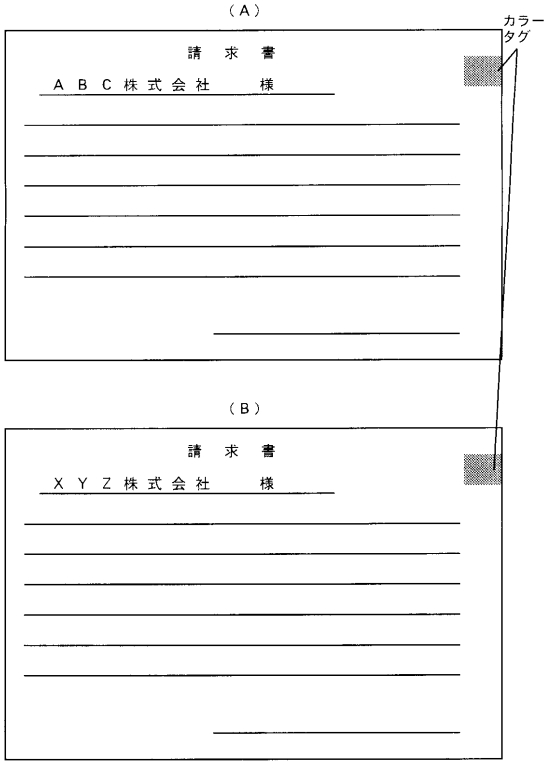
（C）

辞書名称	発行日テーブル	
評価名称	条件	色
発行年度	平成６年	緑
	平成７年	赤
	平成８年	青
	平成９年	黄
	：	：
発行月度	１月	赤（階調１）
	２月	赤（階調２）
	：	：
	１１月	青（階調５）
	１２月	青（階調６）

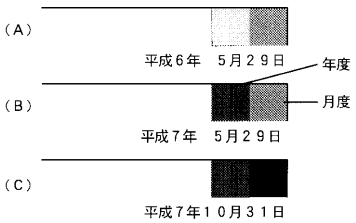
【図５】


帳票印刷
S1
帳票フォーム展開
S2
帳票データ展開
S3
付加印刷指定？
NO
YES
S4
カラー情報から色定義辞書の指定情報を取得する
S5
色定義辞書情報の読込み
S6
評価対象セルの読出し
S7
評価対象セルのデータに応じた色を付加領域に描画する
S8
帳票印刷処理
終了

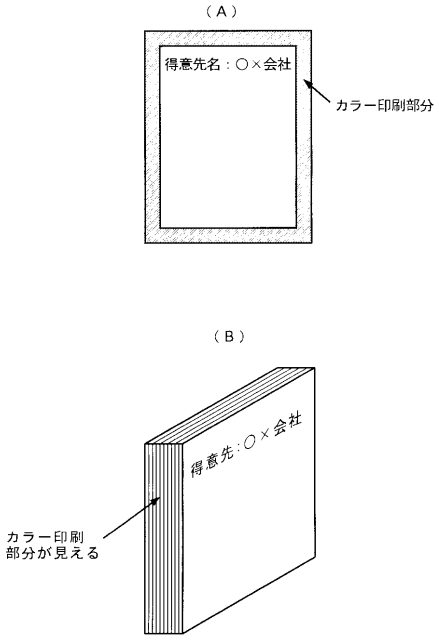
【図６】


（A）
請　求　書
ＡＢＣ株式会社　　様
カラータグ
（B）
請　求　書
ＸＹＺ株式会社　　様

【図７】


（A）
平成６年　５月２９日
年度
（B）
月度
平成７年　５月２９日
（C）
平成７年１０月３１日

【図８】


（A）
得意先名：○×会社
カラー印刷部分
（B）
得意先：○×会社
カラー印刷
部分が見える

フロントページの続き

(51)Int.Cl. FI
G06F 19/00 300J
G06F 19/00 310P

合議体
審判長 田口 英雄
審判官 野崎 大進
審判官 長 由紀子

(56)参考文献 実開平5－5472（JP，U）
特開平5－64925（JP，A）
特開平3－184882（JP，A）
特開平6－274515（JP，A）

(58)調査した分野(Int.Cl.，DB名)
B41J 29/40
G06F 3/12
G06F 17/21
G06Q 10/00